

授業科目名	医 療 概 論			担当教員	榎本 直樹	
開講年次	1 年前期	セメスター	1	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	必修	授業形態	講義	使用教室		
授業の目的	現代医療についての単なる概説や入門ではなく、人の生死や病いにかかわる医療の背景にある考え方や医療の抱える問題・課題を理解した上で、「医療とは何か」「医療と看護はどうかかわるのか」等について批判的に考える。					
到達目標	1. 現代医療の現状および課題を多角的な視点から捉え、考えることができる。 2. これからの医療・看護のあり方について自分自身の考えを明確にし、言語化できる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は「健康」の区分に位置付けられる科目である。医療を中心とした人間と健康、それを支えてきた仕組みや技術の変遷を学び、看護学を含む保健医療分野に通じた将来の課題について学習する基礎的な科目である。また、本科目を通して、人間の尊厳およびグローバル社会における健康ニーズについても学習する。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎	○				
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	導入： 医療とは何か、概論とは何か	講義	健康とはどういう状態のことかについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	榎本	
2	現代医療の歴史と背景： 人間観、社会観の移り変わり	講義	高齢社会の実態について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	榎本	
3	科学的医療観と人間観	講義	EBM（Evidence-Based Medicine）について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	榎本	
4	医療者中心から患者中心の医療／看護へ①	講義	「自己決定（権）」をめぐる議論について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	榎本	
5	医療者中心から患者中心の医療／看護へ②	講義	「インフォームド・コンセント」とはどのようなものかについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	榎本	
6	患者の自己決定を支えることと全人的医療	講義	ホスピスの現状、ならびに「全人的苦痛」とは何かについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	榎本	

7	医療におけるケアの視点	講義	NBM（Narrative-Based Medicine）について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習）	60 分	槇本
8	まとめ： 現代医療における看護の役割	講義	現代医療において看護に何が求められているのかについて、自己の考えをまとめておく（予習）／これまでの講義全体をふり返り、試験の準備をする。	120 分	槇本
先行履修科目					
テキスト		適宜資料等を配布する。			
参考文献		ナーシングサプリ編集委員会編：事例でまなぶケアの倫理。メディカ出版，2015。 霜田 求 編：テキストブック 生命倫理。法律文化社，2018。			
評価方法		授業への出席は前提、その上で授業時の提出物（30％）と期末試験（70％）によって評価する。			
教員等の実務経験		倫理学を専門とし、様々な医療・看護系大学および専門学校で教育の経験のある非常勤講師が近年の動向なども紹介しつつ、講義します。			
メッセージ		講義を受ける際は、ただ話を聞くだけではなく、自分であればどう考えるか、その根拠は何か、など考えながら受講してください。			